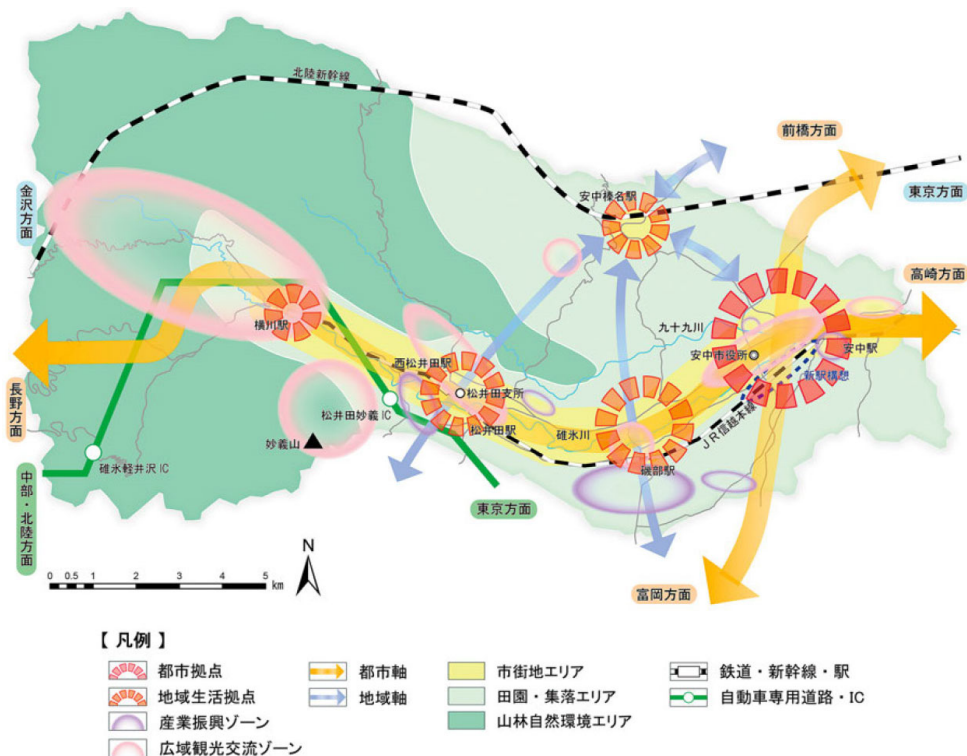


2章 計画条件の整理

(1) 上位関連計画における位置づけ

① 第3次安中市総合計画（あんなか まちづくりビジョン2024、令和6年3月）

- ・まちの将来像として、「住んで良かった 豊かで魅力ある元気な 新しいあんなか ～さらに、光り輝くまちへ～」を掲げており、この実現のために7つの“まちづくりの基本方針”が挙げられています。
- ・このうち、道の駅整備に関わる視点として「経済が活性化し 元気で魅力にあふれるまち（産業、雇用、観光など）」が位置づけられています。
- ・計画予定地は、安中市の将来都市構造において歴史的な都市の背骨となる「東西幹線軸」に位置するとともに、「広域観光交流ゾーン」として地域の資源や歴史・文化などを適切に保全しつつ、広域観光を促進するための環境や機能を整えるゾーンに位置しています。また、横川駅周辺地区は、交通結節機能を有し生活サービス機能が集積するなど、地域生活を支える「地域生活拠点」に位置づけられています。



図：安中将来都市構造図（出典：第3次安中市総合計画（令和6年7月），p37）

- ・また、当計画と一体的に策定されている「安中市デジタル田園都市構想総合戦略」の重点プロジェクトに、「知って、行きたくなり、住んでみたくなるあんなかをつくる」ことが掲げられており、その施策「地域資源を活かした観光振興」の主要事業に、道の駅整備事業が位置づけられています。

② 安中市都市計画マスタープラン（改定中、令和7年6月改定予定）

- ・当計画の改定にあたり、新たに追加された課題として、「横川駅に新たに整備する道の駅を最大限に活用した、地域の魅力や観光情報、特産品等の情報発信」「既存観光地の連携強化」「磯部温泉周辺の活性化」「道の駅などによる鉄道沿線の活性化など」が掲げられています。
- ・将来都市像（案）として、「つなぎ 紡ぐ 人とまち 魅力あふれる自然と 歴史重ねるまち あんなか」を掲げており、この実現の具体的な目標の1つに「魅力を高め 多様な人が活動し いきいきと交流するまち」が定められ、道の駅新設はこの項目に該当する施策の1つに位置づけられています。

③ 安中市「道の駅」基本構想（令和6年3月）

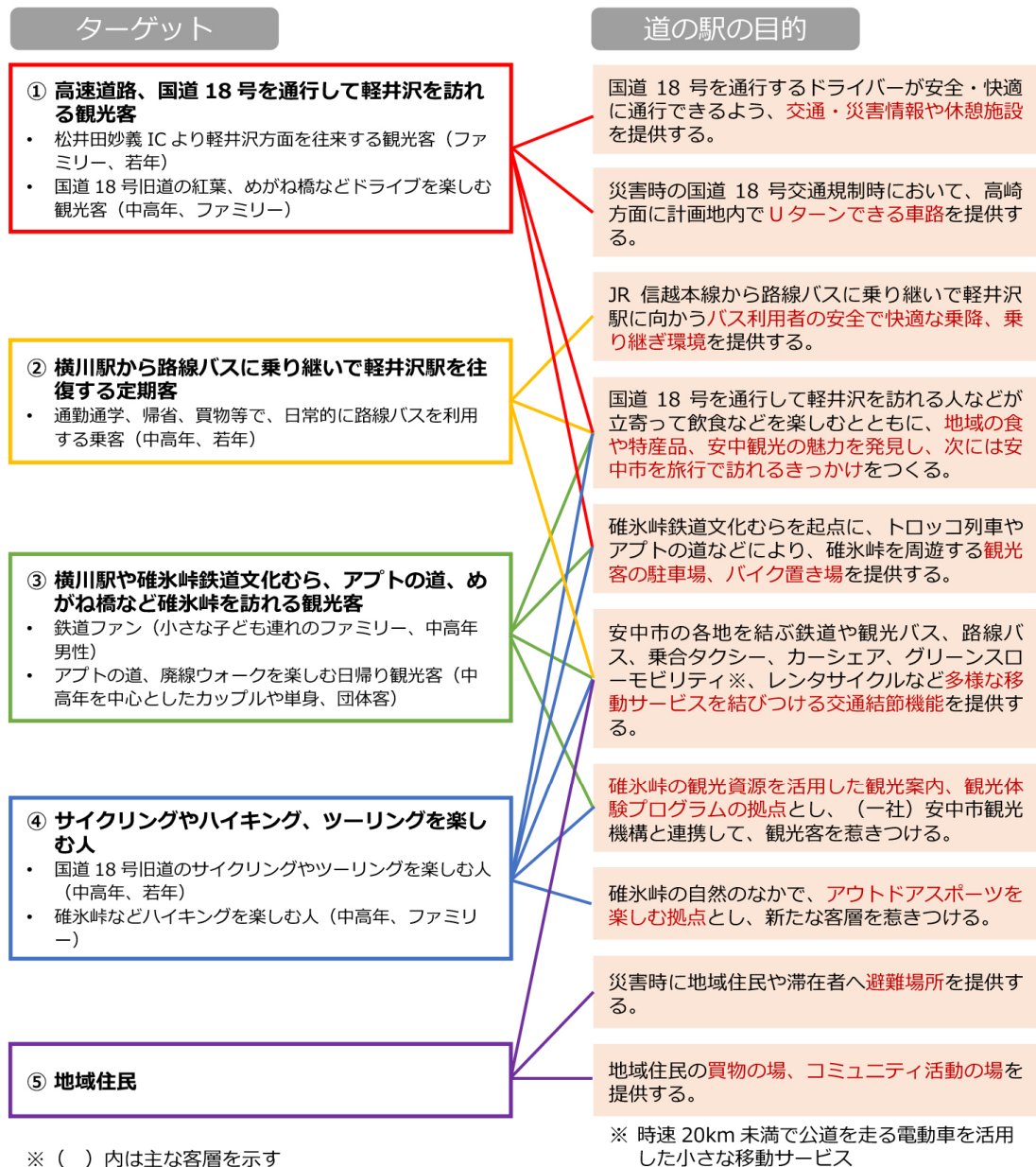
- ・基本理念として「駅がつなく、みちがつなく、碓氷峠交流ステーション」を掲げ、道の駅のあるべき姿として以下の点が示されています。

【道の駅のあるべき姿】

- ・SLが走る鉄道駅とともに、碓氷峠の鉄道の歴史や文化を味わいながら、交通の昔と今をつなげる道の駅とする。
- ・碓氷峠、さらには安中市内の観光資源をつなぎ、あんなかトリップを誘発する観光振興の起点となる道の駅とする。
- ・安中市の食の魅力やアウトドアスポーツ、イベントを楽しむ拠点とし、新たな客層を惹きつけ、地域とつなぐ道の駅とする。
- ・災害時の国道18号の交通処理や避難など群馬県緊急輸送道路ネットワークの防災拠点となる道の駅とする。
- ・地域に密着した公共交通により地域をつなぎ、コミュニティを支える道の駅とする。
- ・地域の魅力を発信し、地域を元気にする道の駅とする。

(2) 想定利用者のニーズ調査結果

基本構想では、道の駅の「ターゲット」と「目的」を以下のように設定しました。



※（ ）内は主な客層を示す

図：道の駅のターゲットと目的（出典：安中市「道の駅」基本構想（令和 6 年 3 月），p22）

本計画の検討にあたり、これらのターゲットのニーズを把握するために以下の調査を実施し、その結果を計画に反映することとしました。

表：実施調査一覧

調査項目	調査の目的	調査実施時期	調査対象地
①来訪者 インタビュー調査	計画予定地や周辺施設の来訪者に対し、道の駅が整備された際に求める機能やコンテンツ等についてインタビュー調査を行い、ニーズを把握するため	令和 6 年 9 月 14 日（土）	碓氷峠鉄道文化むら 横川 SA（下り・上り） 軽井沢・プリンスショッピングプラザ
②地域住民 アンケート調査	計画予定地周辺にお住まいの方に対し、道の駅が整備された際に求める機能やコンテンツ等についてアンケート調査を行い、ニーズを把握するため	令和 6 年 9 月 10 日（火） ～10 月 11 日（金）	松井田町横川、五料、坂本、原にお住まいの方（対象：756 世帯）

① 来訪者インタビュー調査

【インタビュー内容】

以下の設問を設定し、来訪者にお声かけのうえ、インタビューを実施しました。

問1：属性（性別、年齢、お住まい）

問2：誰と来たか（家族／友人／同僚／一人／他）

問3：来訪理由（観光・レジャー／買い物／ビジネス／立ち寄り／他）

問4：交通手段（自家用車／鉄道／バス／バイク／自転車／他）

問5：訪問頻度（初めて／年に1～2回／2か月に1回／1か月に1回／週間に1回／ほぼ毎日）

問6：今までに行ったことがある／問7：今後行ってみたい周辺施設

碓氷峠鉄道文化むら、おぎのやドライブイン、めがね橋等の歴史的遺産、
アプトの道・廃線ウォーク、磯部温泉、霧積温泉、峠の湯・くつろぎの郷、
小根山森林公園、軽井沢のリゾート施設、他

問8：道の駅に必要な機能・場所

休憩機能、物産販売機能、日常の買い物機能、情報発信機能、地域交流機能、防災機能、
アクティビティ機能、イベント拠点機能、観光周遊のための公共交通拠点としての機能、
子どもの遊び場所、ペットとのびのびと遊び憩える場所、他

問9：道の駅ができた場合に見込まれる来訪頻度

年に1～2回、2か月に1回、1か月に1回、1週間に1回、ほぼ毎日、わからない

問10：その他自由意見回答

【調査の実施状況】



▲碓氷峠鉄道文化むら



▲横川 SA（下り）



▲横川 SA（上り）



▲軽井沢・プリンスショッピングプラザ

【結果概要】

- ・「今後行ってみたい周辺施設」では、「磯部温泉」がいずれの調査箇所でも上位となり、「霧積温泉」も比較的上位にランクイン。
- 文化むら訪問者は、「磯部温泉」「峠の湯・くつろぎの郷」「アプトの道・廃線ウォーク」「めがね橋等の歴史的遺産」の回答割合が比較的高く、文化むら周辺エリアの周遊ニーズがあるといえる

- ・「道の駅に必要な機能・場所」としては、各箇所とも「休憩施設」「物産販売機能」の回答割合が圧倒的に多い。軽井沢・プリンスショッピングプラザと横川 SA（上り・下り）では「ペットとのびのび遊び憩える場所」「子どもの遊び場所」も比較的多かった。
- 文化むらでは、来訪者特性から「子どもの遊び場所」との回答割合が3割強と、他施設とは異なる傾向がみられた。「道の駅ができた場合の来訪意向」としては、「年に1~2回程度」との回答割合が最も多く、観光の一環での訪問機会は一定程度見込まれる。一方で、「わからない」との回答割合も比較的多い結果となっており、この道の駅に見込まれる機能・コンテンツ次第で集客力が変わることが示唆される。

- ・軽井沢からの誘客に着眼し、「軽井沢のリゾート施設」に行ったことがある方で今後行ってみたい施設としては、「磯部温泉」「霧積温泉」との回答割合が上位であったが、「碓氷峠鉄道文化むら」「おぎのやドライブイン」「めがね橋等の歴史的遺産」「アプトの道・廃線ウォーク」の回答割合も比較的高かった。
- 今後の訪問先として、温泉地だけでなく文化むら周辺施設を抱き合わせる等、プログラムの広域的な連携が必要

【観光客によるニーズ】

- ・休憩施設・物産販売機能といった、一般的な道の駅に備わる機能以外に、ペットと憩える場所、子どもの遊び場所に関するニーズが見られた
- ・文化むらだけに留まらず、周辺施設・エリアへの周遊もできることが求められている

[主な集計結果]

問7：今後行ってみたい周辺施設（調査箇所別結果）

碓氷峠鉄道文化むら			横川SA下り		
項目	回答数	構成比	項目	回答数	構成比
碓氷峠鉄道文化むら	8	8.0%	碓氷峠鉄道文化むら	7	6.4%
おぎのやドライブイン	17	17.0%	おぎのやドライブイン	5	4.5%
めがね橋等の歴史的遺産	22	22.0%	めがね橋等の歴史的遺産	23	20.9%
アプトの道・廃線ウォーク	25	25.0%	アプトの道・廃線ウォーク	8	7.3%
磯部温泉	25	25.0%	磯部温泉	29	26.4%
霧積温泉	11	11.0%	霧積温泉	32	29.1%
峠の湯・くつろぎの郷	25	25.0%	峠の湯・くつろぎの郷	10	9.1%
小根山森林公園	3	3.0%	小根山森林公園	9	8.2%
軽井沢のリゾート施設	8	8.0%	軽井沢のリゾート施設	12	10.9%
その他	3	3.0%	その他	22	20.0%
無回答	6	6.0%	無回答	2	1.8%
対象者数	100	100.0%	対象者数	110	100.0%

横川SA上り			軽井沢プリンスショッピングプラザ		
項目	回答数	構成比	項目	回答数	構成比
碓氷峠鉄道文化むら	14	13.7%	碓氷峠鉄道文化むら	21	10.2%
おぎのやドライブイン	4	3.9%	おぎのやドライブイン	23	11.2%
めがね橋等の歴史的遺産	10	9.8%	めがね橋等の歴史的遺産	28	13.7%
アプトの道・廃線ウォーク	10	9.8%	アプトの道・廃線ウォーク	14	6.8%
磯部温泉	40	39.2%	磯部温泉	50	24.4%
霧積温泉	26	25.5%	霧積温泉	43	21.0%
峠の湯・くつろぎの郷	15	14.7%	峠の湯・くつろぎの郷	17	8.3%
小根山森林公園	3	2.9%	小根山森林公園	9	4.4%
軽井沢のリゾート施設	13	12.7%	軽井沢のリゾート施設	31	15.1%
その他	25	24.5%	その他	67	32.7%
無回答	1	1.0%	無回答	1	0.5%
対象者数	102	100.0%	対象者数	205	100.0%

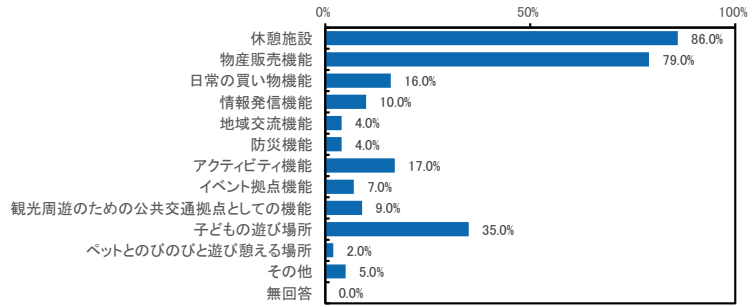
クロス集計（行ったことがある施設×今後行ってみたい施設）：碓氷峠鉄道文化むら

	合計	問7：今後行ってみたい施設										
		碓氷峠鉄道文化むら	おぎのやドライブイン	めがね橋等の歴史的遺産	アプトの道・廃線ウォーク	磯部温泉	霧積温泉	峠の湯・くつろぎの郷	小根山森林公園	軽井沢のリゾート施設	その他	無回答
合計	100	8	17	22	25	25	11	25	3	8	3	6
碓氷峠鉄道文化むら	47	2.1%	14.9%	17.0%	34.0%	23.4%	10.6%	31.9%	4.3%	8.5%	6.4%	0.0%
おぎのやドライブイン	36	1	0	6	11	10	7	12	1	3	3	0
めがね橋等の歴史的遺産	29	3	1	0	6	6	4	7	1	6	3	2
アプトの道・廃線ウォーク	12	0	1	1	0	0	1	4	1	3	2	2
磯部温泉	16	0	3	3	5	0	2	3	1	2	3	0
霧積温泉	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
峠の湯・くつろぎの郷	8	0	0	1	1	3	2	0	1	0	2	0
小根山森林公園	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
軽井沢のリゾート施設	39	2	8	10	5	10	5	5	2	0	3	2
その他	7	0	2	3	0	4	0	1	0	0	0	0
無回答	10	2	2	2	4	2	1	2	0	1	0	3

問 8：道の駅に必要な機能・場所（調査箇所別結果）

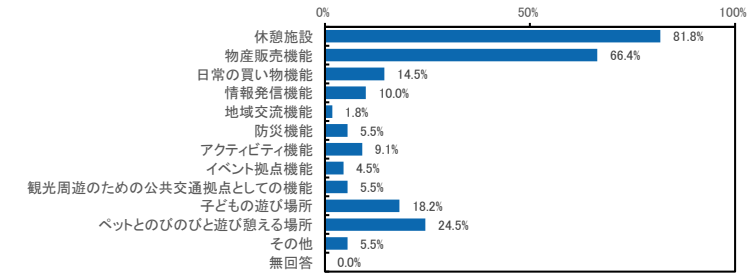
碓氷峠鉄道文化むら

項目	回答数
休憩施設	86
物産販売機能	79
日常の買い物機能	16
情報発信機能	10
地域交流機能	4
防災機能	4
アクティビティ機能	17
イベント拠点機能	7
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	9
子どもの遊び場所	35
ペットとのびのびと遊び憩える場所	2
その他	5
無回答	0
対象者数	100



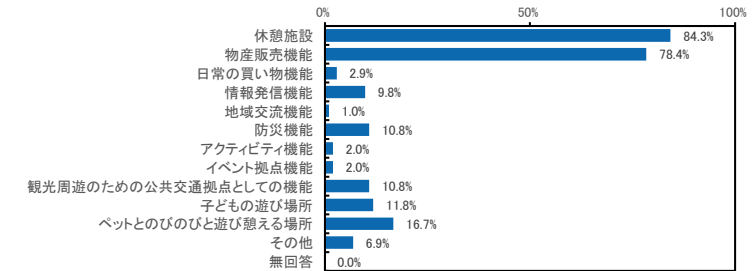
横川SA（下り）

項目	回答数
休憩施設	90
物産販売機能	73
日常の買い物機能	16
情報発信機能	11
地域交流機能	2
防災機能	6
アクティビティ機能	10
イベント拠点機能	5
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	6
子どもの遊び場所	20
ペットとのびのびと遊び憩える場所	27
その他	6
無回答	0
対象者数	110



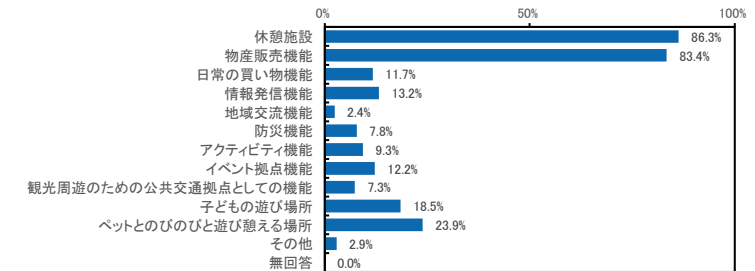
横川SA（上り）

項目	回答数
休憩施設	86
物産販売機能	80
日常の買い物機能	3
情報発信機能	10
地域交流機能	1
防災機能	11
アクティビティ機能	2
イベント拠点機能	2
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	11
子どもの遊び場所	12
ペットとのびのびと遊び憩える場所	17
その他	7
無回答	0
対象者数	102

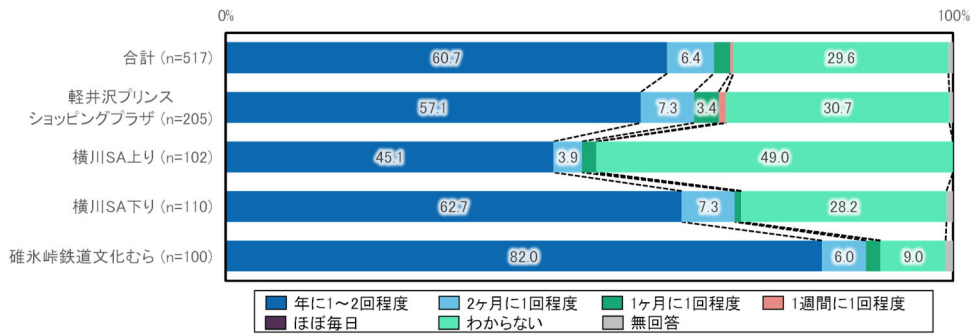


軽井沢・プリンスショッピングプラザ

項目	回答数
休憩施設	177
物産販売機能	171
日常の買い物機能	24
情報発信機能	27
地域交流機能	5
防災機能	16
アクティビティ機能	19
イベント拠点機能	25
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	15
子どもの遊び場所	38
ペットとのびのびと遊び憩える場所	49
その他	6
無回答	0
対象者数	205



■問9：安中市に道の駅ができた場合の来訪意向（調査箇所別結果）



	合計	年に1~2回程度	2ヶ月に1回程度	1ヶ月に1回程度	1週間に1回程度	ほぼ毎日	わからない	無回答
合計	517	314	33	12	2	0	153	3
	100.0%	60.7%	6.4%	2.3%	0.4%	0.0%	29.6%	0.6%
軽井沢プリンスショッピングプラザ	205	117	15	7	2	0	63	1
	100.0%	57.1%	7.3%	3.4%	1.0%	0.0%	30.7%	0.5%
横川SA上り	102	46	4	2	0	0	50	0
	100.0%	45.1%	3.9%	2.0%	0.0%	0.0%	49.0%	0.0%
横川SA下り	110	69	8	1	0	0	31	1
	100.0%	62.7%	7.3%	0.9%	0.0%	0.0%	28.2%	0.9%
碓氷峠鉄道文化むら	100	82	6	2	0	0	9	1
	100.0%	82.0%	6.0%	2.0%	0.0%	0.0%	9.0%	1.0%

■軽井沢・プリンスショッピングプラザ来訪者集計（行ったことがある施設×今後行ってみたい施設）

		問7：今後行ってみたい施設										
	合計	碓氷峠鉄道文化むら	おぎのやドライブイン	めがね橋等の歴史的遺産	アプトの道・廃線ウォーク	磯部温泉	霧積温泉	峠の湯・くつろぎの郷	小根山森林公園	軽井沢のリゾート施設	その他	無回答
合計	205	21	23	28	14	50	43	17	9	31	67	1
		10.2%	11.2%	13.7%	6.8%	24.4%	21.0%	8.3%	4.4%	15.1%	32.7%	0.5%
碓氷峠鉄道文化むら	22	0	2	3	2	2	2	1	1	3	9	0
		0.0%	9.1%	13.6%	9.1%	9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	13.6%	40.9%	0.0%
おぎのやドライブイン	62	8	0	13	7	14	12	7	3	10	14	0
		12.9%	0.0%	21.0%	11.3%	22.6%	19.4%	11.3%	4.8%	16.1%	22.6%	0.0%
めがね橋等の歴史的遺産	29	3	5	0	2	9	9	1	2	3	6	0
		10.3%	17.2%	0.0%	6.9%	31.0%	31.0%	3.4%	6.9%	10.3%	20.7%	0.0%
アプトの道・廃線ウォーク	12	2	0	1	0	3	1	0	1	0	6	0
		16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	50.0%	0.0%
磯部温泉	27	1	8	5	3	0	6	1	2	3	7	0
		3.7%	29.6%	18.5%	11.1%	0.0%	22.2%	3.7%	7.4%	11.1%	25.9%	0.0%
霧積温泉	5	1	0	1	2	1	0	0	0	0	2	0
		20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
峠の湯・くつろぎの郷	9	1	0	0	1	3	1	0	0	1	4	0
		11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%
小根山森林公園	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0
		0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
軽井沢のリゾート施設	107	12	14	15	11	29	26	9	6	5	33	1
		11.2%	13.1%	14.0%	10.3%	27.1%	24.3%	8.4%	5.6%	4.7%	30.8%	0.9%
その他	63	5	4	4	1	14	10	5	3	17	29	0
		7.9%	6.3%	6.3%	1.6%	22.2%	15.9%	7.9%	4.8%	27.0%	46.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

② 地域住民アンケート調査

【インタビュー内容】

松井田町横川・五料・坂本・原にお住まいの756世帯の方を対象に、以下の設問でアンケートを実施しました。

問1：属性（性別、年齢、お住まいの地区）

問2：これまで道の駅を利用した際の主な目的

食事、買い物、休憩での立ち寄り、イベントや地域交流行事等への参加、
観光情報や交通情報の入手、子どもの遊び場としての利用、他

問3：道の駅ができる場合に必要だと思う機能や場所

日常の買い物機能、休憩機能、物産販売機能、地域交流機能、防災機能、情報発信機能、
アクティビティ機能、イベント拠点機能、観光周遊のための公共交通拠点としての機能、
子どもの遊び場所、ペットとのびのびと遊び憩える場所、他

問4：道の駅ができた場合に見込まれる来訪頻度

ほとんど訪問しない、年に1回、半年に1回、2か月に1回、1か月に1回、
1週間に1回、ほぼ毎日、わからない

問5：「地域との協働」による道の駅の運営・管理の活動への参加意向

参加したい／条件が合えば参加したい／参加したくない

問6：参加できる具体的な活動（問5で「参加したい・条件が合えば参加したい」の場合）

地元の農作物・特産品や加工品、地域素材の商品などの物産品の出品
地域の交流振興が図れる施設の維持管理・運営
地域の環境学習やイベント開催ができる文化教養施設の維持管理・運営
地域の自然環境を活かしたアウトドア・アクティビティプログラムの運営
道の駅施設の清掃や美化活動など、日常的な維持管理活動への参加 他

問7：その他自由意見回答

【回答状況】

調査票：336票，WEB回答：37票 合計373票（回収率49.1%）

【結果概要】

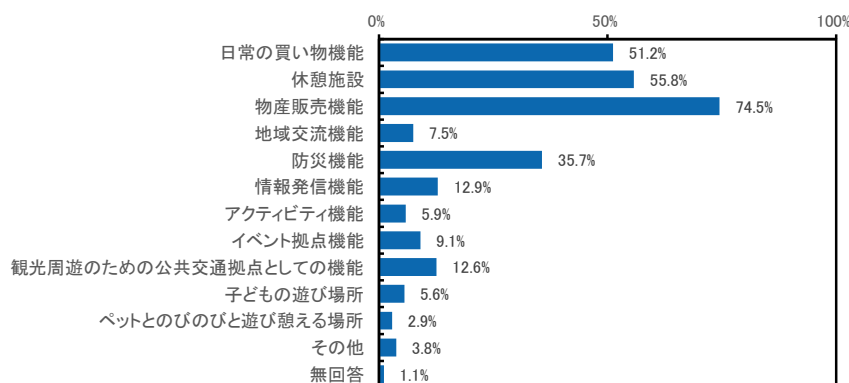
- ・「道の駅ができる場合に必要だと思う機能や場所」として、「物産販売機能」が多く、次いで「休憩機能」「日常の買い物機能」が続く結果となった。また、「防災機能」の回答割合も比較的多かった。
- ・「道の駅ができた場合に見込まれる来訪頻度」として、「1週間に1回程度」との回答割合が4割強で最も多く、次いで「1か月に1回程度」が2割弱となった。一方で、「わからない」との回答割合も2割弱であった。
- ・「地域との協働」による道の駅の運営・管理の活動への参加意向として、「参加したい」「条件があれば参加したい」との回答割合は7割弱となった。
→ここで参加できる具体的な活動として、「道の駅施設の清掃や美化活動など、日常的な維持管理活動への参加」が最も多く、次いで「地元の農作物・特産品や加工品、地域素材の商品などの物産品の出品」「地域の交流振興が図れる施設の維持管理・運営」が続いた。
- ・自由回答では「特産品の充実」「アクセス性・交通状況の改善」「日常的な買い物の利便性」に関する意見が特に多かった。

【地区住民によるニーズ】

- ・「物産販売機能」が圧倒的に多く、次いで「日常の買い物機能」「休憩機能」と、日常的な利用が見込める機能を求める声が多い
- ・参画可能な活動は「日常的な維持管理活動」が最も多い
- ・エリアへのアクセス性向上・交通状況改善のためには、「適切な周辺道路整備・駐車場の確保」が必要

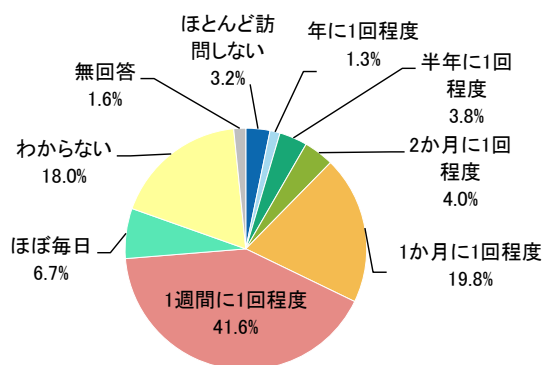
[主な集計結果]

■問3：道の駅ができる場合に必要だと思う機能や場所



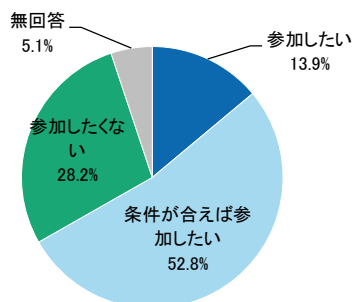
項目	人数
日常の買い物機能	191
休憩施設	208
物産販売機能	278
地域交流機能	28
防災機能	133
情報発信機能	48
アクティビティ機能	22
イベント拠点機能	34
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	47
子どもの遊び場所	21
ペットとのびのびと遊び憩える場所	11
その他	14
無回答	4
対象者数	373

■問4：道の駅ができた場合に見込まれる来訪頻度



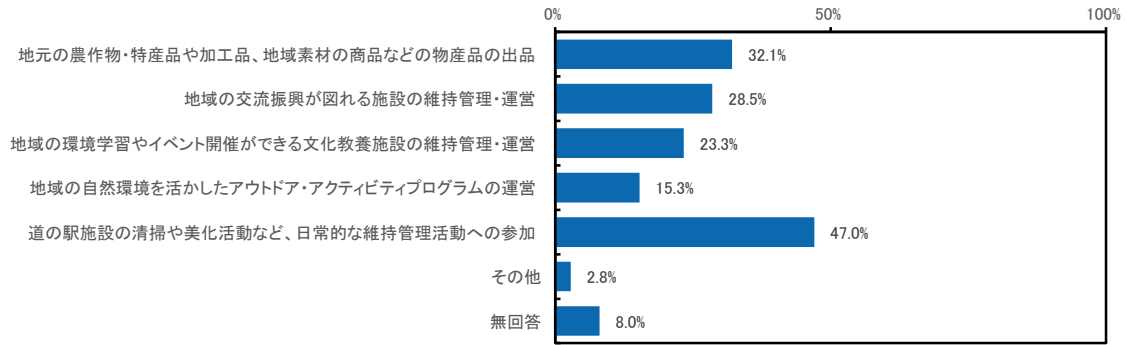
項目	人数
ほとんど訪問しない	12
年に1回程度	5
半年に1回程度	14
2か月に1回程度	15
1か月に1回程度	74
1週間に1回程度	155
ほぼ毎日	25
わからない	67
無回答	6
合計	373

■問5：「地域との協働」による道の駅の運営・管理の活動への参加意向



項目	人数
参加したい	52
条件が合えば参加したい	197
参加したくない	105
無回答	19
合計	373

■問6：参加できる具体的な活動（問5で「参加したい・条件が合えば参加したい」の場合）



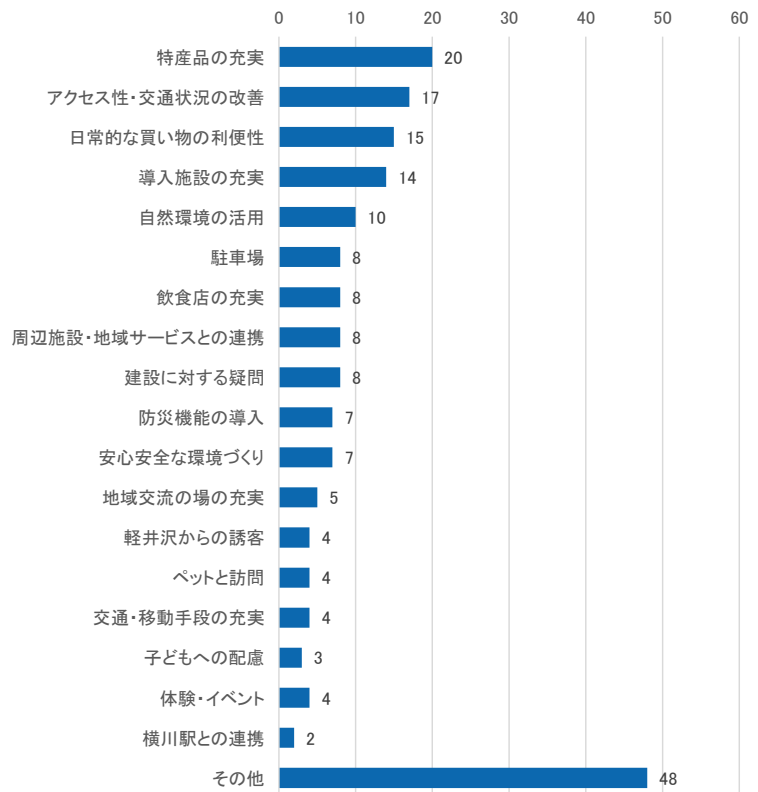
項目	人数
地元の農作物・特産品や加工品、地域素材の商品などの物産品の出品	80
地域の交流振興が図れる施設の維持管理・運営	71
地域の環境学習やイベント開催ができる文化教養施設の維持管理・運営	58
地域の自然環境を活かしたアウトドア・アクティビティプログラムの運営	38
道の駅施設の清掃や美化活動など、日常的な維持管理活動への参加	117
その他	7
無回答	20
対象者数	249

■問7：その他自由意見

（集計方法）自由意見の各内容の主要なキーワードを抽出し、そのカテゴリごとに意見を分類しました。意見の中に複数のキーワードが含まれる場合には、複数のキーワードをカウントしました。

【自由意見の傾向】

- 「特産品の充実」を求める声が多かった。具体的には、来訪者がそれを目当てにやってくる商品開発、地域の個性を發揮したものの目玉となるものを打ち出すべき等の意見がありました。
- 次いで、「アクセス性・交通状況の改善」を求める声が多かった。具体的には、横川SAとの連携、国道18号からのアクセス性の確保、敷地形状に配慮した出入口の設置、交通渋滞や事故に対する懸念等の意見がありました。
- 「日常的な買い物の利便性」を求める声については、スーパーやコンビニの機能の導入、高齢になり車での移動が困難になった際の買い物先等の意見があり、その機能を観光客にも利用してもらえるようにすることを指摘する意見もありました。
- ほか、広く「導入施設の充実」を求める声も多く挙がりました。



(3) 民間事業者ヒアリング結果概要

道の駅の整備や運営管理のあり方について、事業者の参画意向や展開できそうなアイデア・知見などについてヒアリングを行い、公民連携による道の駅の運営管理の実現に向け、事業化におけるメリットや課題を把握しました。

【実施状況】

実施期間 令和6年9月17日（火）～10月4日（金）

参加業種 技術サービス業：4社

建設業：2社

卸売・小売業：1社

情報通信業：1社

【ヒアリング内容】

参加事業者に対し、以下の内容についてヒアリングを行いました。

- 1) 「道の駅」基本構想（令和6年3月公表）に関する意見・提案
- 2) 市が考える事業手法や事業スケジュールについて
- 3) 事業参画の可能性について（想定される事業内容、参画のメリットや効果、参画の課題、地域協働の可能性、環境配慮・防災に関する手法）
- 4) 道の駅の区域について（単独整備／文化むらとの一体的な整備に関するメリットや懸念される課題等）
- 5) その他意見・提案

【結果概要】

- ・歴史を有する鉄道遺構のPRを企図した、先端技術を活用した観光コンテンツの提供が有効
- ・地域の多様な世代が交流し、憩いの場となる空間の創出が有効（既存施設との競合回避（選択肢を生むこと）が必須）
- ・公共交通のハブ空間（観光利用か地元利用のいずれを重視するかは要精査、初期からの両立は困難である可能性）
- ・地域の防災拠点となる空間の創出（日常時・有事の際に利用いただける工夫が必要：日常的な市民への啓蒙教育や意識醸成、地域の魅力を学ぶ場、情報提供を行う場としての活用）
- ・「碓氷峠鉄道文化むら」という、既にネームバリューや資産を有する施設を有効活用すべき（留意点として、限られた予算での一体化手法の検討、多様な施設全体をマネジメントできるチーム組成が必要）

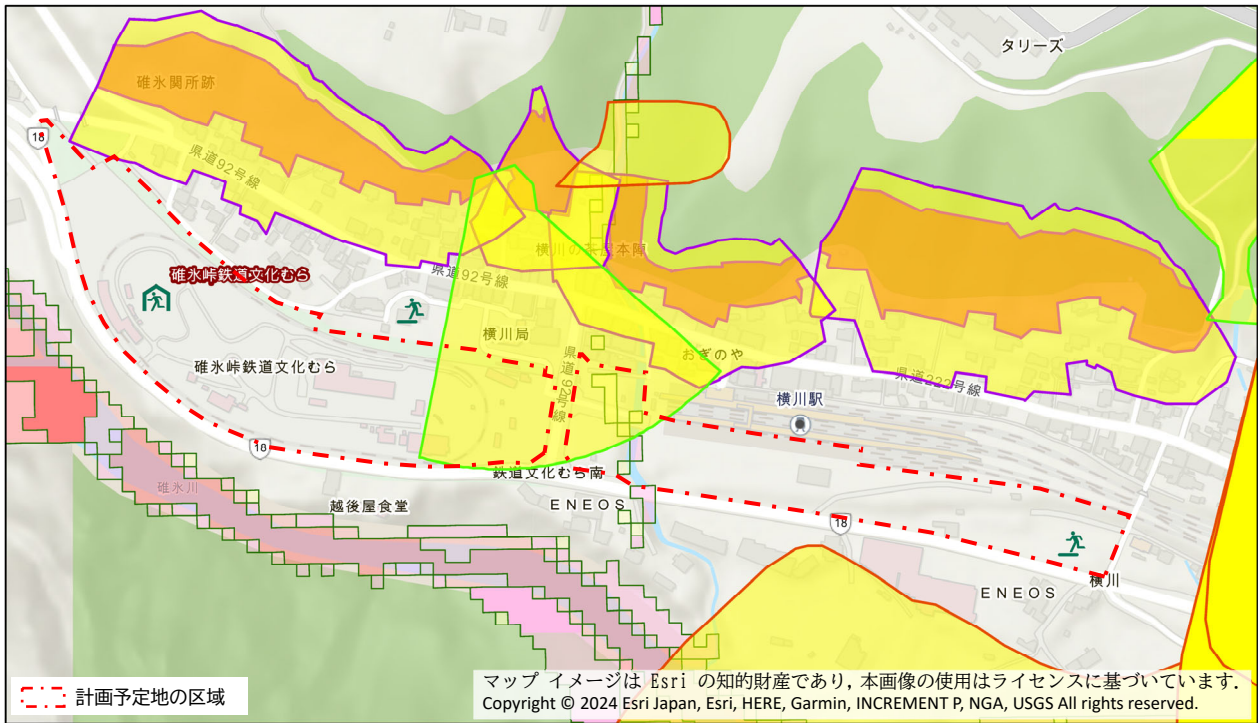


【民間事業者が見込むポテンシャル】

- ・鉄道などの歴史遺構における、先端技術を活用した観光コンテンツの提供
- ・地域の多様な交流・憩いの場の創出
- ・公共交通のハブ空間
- ・日常的に施設を利用し空間を共有することにより、有事の際に防災拠点として活用できる
- ・文化むらとの一体化は、このエリアのネームバリューを活かした道の駅整備に資する

(4) 法規制などの条件

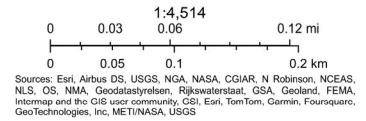
計画予定地及び文化むらの一部では、土砂災害警戒区域（土石流）に指定されています。よって、災害リスクの回避のため、当該区域内には建築物を新設しないこととします。



2024/8/9 17:21:15



- | | | | |
|------------|------------|------------|----------|
| 土砂災害警戒区域 | 急傾斜 | 浸水想定区域（山地） | 0.5~3m未満 |
| 土砂災害特別警戒区域 | 土砂災害特別警戒区域 | 5~10m未満 | 0.5m未満 |
| 地滑り | 急傾斜 | 3~5m未満 | |



図：土砂災害警戒区域の指定範囲（出典：危機管理マップ（安中オンラインマップを参照））

警戒区域では

警戒避難体制の整備
土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。
【市町村】

特別警戒区域ではさらに

特定の開発行為に対する許可制
住宅地分譲や宅配業者利用施設等の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限って許可されます。【都道府県】

建築物の構造規制
居室を有する建築物は、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全かどうか建築確認がされます。【建築主事を置く地方公共団体】

建築物の移転勧告
著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。【都道府県】

図：土砂災害警戒区域・特別警戒区域（出典：国土交通省 HP）